

2021年11月11日

各 位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

三井住友信託銀行株式会社

## LGBTQへの取組評価「PRIDE指標」において、最高評価「ゴールド」を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:高倉 透、以下「三井住友トラスト・ホールディングス」)は、本日、LGBTQ に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 wwP(work with Pride)による、LGBTQ などの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE 指標」において、グループ(\*1)として最高評価の「ゴールド」を受賞しました。また、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「三井住友信託銀行」)は、コレクティブ・インパクト型の取り組み(\*2)を実施する企業を表彰する「レインボー」も同時受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE 指標」は、各企業・団体などの、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するもので、2016年に策定された日本で初めてのLGBTQ施策評価指標です。2017年度と2018年度は三井住友信託銀行が、2019年度からはグループ内に取り組みを拡げ、三井住友信託銀行に加えて、三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及び三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社が受賞しました。今年度はさらに三井住友トラスト・カード株式会社、三井住友トラストクラブ株式会社も加わり、グループとして「ゴールド」を受賞しました。

三井住友トラスト・グループでは、「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というダイバーシティ&インクルージョンの概念そのものを、ミッション(経営理念)として掲げ、性的指向・性自認を理由とした差別や人権侵害を行わないことをグループの人権方針の一つとして、組織のポリシーに明示しています。

LGBTQなどの性的マイノリティの社員が自分らしく能力を発揮できるように、相談窓口の設置や福利厚生制度の改定、研修を通じた啓発活動などの職場環境の整備に継続して取り組んでおり、「東京レインボープライド 2021」への協賛の他、三井住友信託銀行においては同性パートナーを配偶者とみなしてご利用いただける住宅ローン(\*3)の取り扱いや、三井住友トラストクラブが発行するクレジットカードでは同性パートナーへの家族カードの発行を実施するなど、LGBTQ支援の姿勢を社内外に表明しています。また、これらの取り組みに加え、地方自治体と共同で情報冊子を作成し、各地域におけるLGBTQの理解促進、LGBTQに対する課題や共通認識を持つ企業や各種団体との連携強化を推進しています。

三井住友トラスト・グループは、地方自治体やLGBTQ支援団体、LGBTQフレンドリー企業とともに、地域に寄り添った活動を進め、社会へのポジティブインパクト創出へ向けた取り組みを進めるとともに、「個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場の提供」というグループの「働き方改革宣言」の実現を目指し、環境整備や意識改革に引き続き努めてまいります。



- (※1) 三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友信託銀行、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社、三井住友トラスト・カード株式会社、三井住友トラストクラブ株式会社。なお、日興アセットマネジメント株式会社は2019年度・2020年度に続き、単体で「ゴールド」を受賞。
- (※2) コレクティブ・インパクトとは、「(企業や行政、NPOなどの)異なるセクターから集まった重要なプレイヤーたちのグループが、特定の社会課題の解決のため、共通のアジェンダに対して行うコミットメント」と定義されています。
- (※3) 三井住友信託銀行が指定する公正証書などをご提出いただくことでご利用いただけます。

以上